

新井中央小だより

ウェブページ <https://myoko.schoolweb.ne.jp/15020005>

No. 319

メールアドレス myoko.araichuou-es@edu-niigata.ed.jp

2026 (令和8) 年6月26日

命の尊さ、命の重さ

写真

毎朝、自分のアサガオに声を掛けながら水やりをする1年生。自分が選んだ作物を世話し、収穫を喜んでいる2年生。卵、幼虫、さなぎを経てから羽化した蝶を見て感動する3年生。森林の大切さを知り、保全に取り組もうとしている4年生。メダカや人、植物の命の誕生について学習している5年生。リーダーとして全校児童の安全や安心を守っている6年生。子どもたちは、日々の体験の中で命の尊さを感じ取り、命を大切にしています。

さて、先日の沖縄全戦没者追悼式で、中学生の亀谷琉奈さんが平和の詩を読んでいます。「(・・・略) 平和は当たり前じゃない たくさんの人の涙と苦しみと『生きたい』という願いの上にある だから私は忘れない 沖縄戦で苦しんだ人たちを 愛する人を守ろうとした想いを 泣きながら生き抜いた人たちを そして曾祖母の右足の傷を『生きたい』と願った証の傷を 平和な未来へと繋いでいくために」。戦争を生き抜いた曾祖母の右足の傷は「生きたい」と願った証として象徴され、未来へ平和をつなぐ決意が表現されています。また、詩人で書家の相田みつをさんは、「いのちのバトン」という詩で命の尊さを表現されています。私たちの祖先をたどっていく

「自分の番 いのちのバトン」

父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうしてかぞえてゆくと
十代前で 千二十四人
二十代前では———？
なんと 百万人を越すんです

過去無量の
いのちのバトンを受けついで
いま ここに
自分の番を生きている
それが
あなたのいのちです
それが わたしの
いのちです

出典：「自分の番 いのちのバトン」

と、20代前で百万人を越すのは、驚きです。多くの方の「いのちのバトン」を受け取り、今私たちが生きていること、その中には戦争を生き抜いた方の「生きたい」という強い思いがあることを忘れてはいけないと思います。身近な植物や動物の命を大切にしている子どもたちですから、受け継いだ貴重な自身の命を大切にしてほしいです。

最近、東京都北区の小学校で起きた火災、全国的なクマ出没による被害、不審者事案、学校での事故など、子どもたちの命を脅かすなど様々な事故、事件が続いています。

特に交通事故や水難事故、ケガの増加が気になります。交通事故の件数を見てください。子どもたちの様子を見て、特に指導して

いるのは、横断前の左右確認（バス降車後も要注意）と自転車でのスピードの出し過ぎ、交差点などでの飛び出しです。ヘルメット着用も努力義務になっています。また、用水等の水難事故も絶対に回避しなければなりません。日頃、地域の皆様からも直接注意していただいたり、学校へも声をいただいたりしており、感謝しております。引き続きご支援をお願いいたします。

引用：令和7年度交通事故発生状況令（警察庁交通局）

1	交通事故でケガをした人（負傷者）	338,508人
2	交通事故でケガをした人（重傷者）	27,563人
3	交通事故で亡くなった人	2,547人
4	自転車交通事故の件数	67,470件
5	自転車事故で亡くなった人	301人

最後に、相田みつをさんが書いたもう一つの詩をご覧ください。□の中には、どんな言葉が入るのでしょうか。

花をささえる枝
枝をささえる幹
幹をささえる根
根は□ だ

「大切」「強い」「すごい」……？ 答えは、「みえねん」です。

大切な子どもたちの命を支えていくのは、周囲の大人の力であり、子どもたちの見えないところで、子どもたちの命を守るため、日々安全対策を講じ、今ある対策を改善し、新たな事案（事故や災害）を予知し、対応していきます。

クラブ活動！地域の皆様からご指導をいただいています

今年度、地域の皆様からご協力をいただき、次の10のクラブを開設しました。地域の先生の専門的なご指導をいただき、子どもたちは目を輝かせながらクラブ活動に取り組んでいます。1年間よろしくお願いいたします。

1 アウトドアクラブ	5 手芸クラブ	9 ボルダリングクラブ
2 金管クラブ	6 ペーパークラフトクラブ	10 ワールドボードクラブ
3 バドミントンクラブ	7 プログラミングクラブ	
4 おもしろ実験クラブ	8 アートクラブ	



写真



写真



写真



地域づくりに仲間入り！七夕飾りから深まる 「みんなが幸せになる生き方」

6月19日（金）、6年生が「あらい七夕まつり」の飾りづくりを行いました。実行委員会の方に教わり、地域の方が作った花飾りを組み合わせながら、班で協力して鮮やかな飾りを完成させました。

実行委員会の方々との出会いは、子どもたちが「地元を盛り上げようとする大人の存在」を知る契機となりました。直接の運営ではなくとも、自分たちの飾りが祭りを彩ることは、地域の一員として地域づくりに関わる大切な一歩です。

本年度、6年生は総合学習で「多様なひと・もの・社会とのつながり」から、自分もみんなも幸せになる生き方について追究しています。地域とのあたたかい関わりを実感できた今回の経験は、子どもたちの学びをいっそう深める貴重な機会となりました。

7月の学校行事



- | | |
|--|---|
| 2日（木）6年修学旅行1日目（東京方面）
1年校外学習「ヤギとふれあい活動」 | 12日（日）妙高市防災訓練 *当校会場 |
| 3日（金）6年修学旅行2日目（東京方面）
4年校外学習（妙高青少年自然の家）
読み聞かせ | 13日（月）6年ゲストティーチャーとつくる「なかま」
の時間、体験入学～7/20（5年2組へ）
個別懇談（給食後下校）～16日 |
| 6日（月）体験入学～7/24（6年1組へ） | 17日（金）学期末清掃～21日、読み聞かせ |
| 8日（水）クラブ、なかよし遊び | 22日（水）地域子ども会、1年校外学習（万内川砂防公園） |
| 9日（木）職員研修のため給食後下校 | 24日（金）1学期終業式 給食後下校 |
| 10日（金）読み聞かせ | 25日（土）夏季休業～8月27日 |